

提言 20 号「血液検査パニック値に係る死亡事例の分析」説明会
「血液検査パニック値への取り組みを考えよう」開催報告

○実施目的

患者安全のための血液検査パニック値に関する組織としての取り組みを、医師、臨床検査技師、看護師、医療安全管理者など、血液検査に関わる関係者の皆様と意見交換を行う。

○開催日時

来 場；2025 年 3 月 1 日（土）13～15 時 品川ザ・グランドホール
オンデマンド；2025 年 3 月 18 日（火）～5 月 31 日（土）

※5 月 20 日（火）まで参加登録可（参加費 1,000 円）

○内容

- ・講演 1 医療事故の再発防止に向けた提言について
医療安全調査機構 常務理事 木村 壮介
- ・講演 2 「提言第 20 号 血液検査パニック値に係る死亡事例の分析」の解説
群馬大学 名誉教授 村上 正巳
- ・パネルディスカッション～パニック値に係る医療関係者の取り組みに向けて
座長：国際医療福祉大学 教授・大学院長 矢富 裕
医療安全調査機構 常務理事 宮田 哲郎
 1. パニック値の項目と閾値について
医療法人社団誠馨会 新東京病院 臨床検査部 部長 諏訪部 章
 2. パニック値の報告漏れを防ぐためには（臨床検査技師の立場から）
株式会社日立製作所ひたちなか総合病院 TQM 統括室安全管理センター 根本 誠一
 3. 看護師がパニック値の報告を受けたら（看護管理者の立場から）
京都大学医学部附属病院 看護部 副看護部長 飯田 恵
 4. パニック値の対応の有無を確認するには（臨床検査専門医の立場から）
杏林大学医学部 臨床検査医学教室 教授 大西 宏明
 5. 衛生検査所を利用する場合の院内体制
国際医療福祉大学 特任教授 村上 正巳

○参加登録者人数

来 場：62 名（予定）（医師 19 名、臨床検査技師 38 名、看護師 3 名、助産師 1 名、その他 1 名）
オンデマンド：約 1,300 名（2 月 27 日現在）

○その他

- ・日本臨床検査医学会と共催
- ・日本専門医機構 共通講習 A 医療安全 2 単位の対象



血液検査パニック値への取り組みを考えよう

患者安全のための血液検査パニック値に関する組織としての取り組みを、医師、臨床検査技師、看護師、医療安全管理者など、血液検査に関わる関係者のみなさまと一緒に考えます。

ご 来 場

2025年 **3月1日** (土) 13:00~15:00

オンデマンド配信

2025年3月18日(火)~2025年5月31日(土)

【追加のお知らせ】日本専門医機構認定 専門医 更新のための
共通講習 A 医療安全2単位に認定されました！
詳細は、センターのホームページをご覧ください。

パネルディスカッション

血液検査パニック値に係る医療関係者の取り組みに向けて

【座長】 矢富 裕 (国際医療福祉大学 教授・大学院長)
宮田 哲郎 (日本医療安全調査機構 常務理事)

●医療事故の再発防止に向けた提言について
木村 壮介 (日本医療安全調査機構 常務理事)

●提言第20号「血液検査パニック値に係る死亡事例の分析」の説明
村上 正巳 (提言第20号 専門分析部会 部会長:群馬大学 名誉教授)

【パネリスト】 提言第20号 専門分析部会 部会員:五十音順

諏訪部 章 (医 師:日本臨床検査医学会)~パニック値の項目と閾値について
根本 誠一 (臨床検査技師:日本臨床衛生検査技師会)~パニック値の報告漏れを防ぐためには
飯田 恵 (看護師:日本看護管理学会)~看護師がパニック値の報告を受けたら
大西 宏明 (医 師:日本臨床検査医学会)~パニック値の対応の有無を確認するには
村上 正巳 (医 師:日本臨床検査医学会)~衛生検査所を利用する場合の院内体制

共 催 一般社団法人 日本臨床検査医学会
会 場 品川ザ・グランドホール(品川駅港南口より徒歩3分)

参 加 費 来場:1,000円、オンデマンド:1,000円

登 録 期 間 来場:2024年12月11日(水)12:00~2025年2月17日(月)
オンデマンド:2024年12月11日(水)12:00~2025年5月20日(火)

受 講 証 当日参加またはオンデマンド視聴にて発行

申 込 方 法 医療事故調査・支援センターのホームページ
<https://www.medsafe.or.jp/>

